

## 被災地における医療活動の状況について

### 1 発災直後におけるDMAT活動

#### (1) DMATの参集

3月11日の発災後、県では同日中に岩手DMATのほか全国のDMATに派遣要請を行い、11日には岩手DMAT 4チームのほか、青森県、秋田県など隣県のチームが本県に参集し被災地の災害拠点病院等へ向かったところであり、以降19日までの間に岩手DMAT 7チームのほか、28都道府県から119チームが本県に参集し災害急性期における医療救護活動を実施した。

- ・岩手DMAT（7チーム）

岩手医大、県立中央、胆沢、磐井、久慈、中部、二戸病院チーム

- ・各都道府県DMAT（119チーム）

※ 現時点で各都道府県から報告のあったチーム数であること。

派遣実績のあった都道府県は、次のとおり。

北海道、青森県、秋田県、新潟県、栃木県、茨城県、埼玉県、群馬県、山梨県、東京都、神奈川県、千葉県、長野県、愛知県、岐阜県、富山県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、岡山県、山口県、鳥取県、島根県、徳島県、高知県、宮崎県

#### (2) DMAT活動

発災後、県庁災害対策本部支援室内に岩手県DMAT調整本部を設置し、岩手県全域の病院被災状況や医療ニーズについて収集した情報を基に、支援の必要な災害拠点病院へDMATチームを派遣、各災害拠点病院に参集したDMATは、患者のトリアージ、応急処置などの活動が行われた。

#### (3) 広域搬送の実施

沿岸部の重症患者や被災病院の入院患者等を内陸部に搬送するため、花巻空港及び岩手県消防学校を広域医療搬送拠点に指定し、ここに参集したDMATはヘリ搬送された患者のトリアージ、応急処置を行った後、内陸部の病院や県外の病院に搬送した。

沿岸地域からヘリにて花巻空港及び県消防学校に設置した広域医療搬送拠点に搬送された患者数は、当該拠点を運営していた3月12日から19日までの間で191人。

このうち県外への搬送患者は16人で、自衛隊機等にて北海道、東京及び秋田へ搬送された。

- ・県外への搬送患者内訳

北海道4人（3/12自衛隊機で新千歳空港へ搬送し、道内の病院に収容）

東京都6人（3/13自衛隊機で羽田空港へ搬送し、都内の病院に収容）

秋田県6人（3/14、15自衛隊機で秋田空港へ搬送し、秋田県内の病院に収容）

## 2 避難所等における医療救護活動

### (1) 「岩手災害医療支援ネットワーク」による医療支援体制について

発災後の救命救急医療に対応したDMAT体制から、広範囲にわたる避難所等の医療救護に対応するため、岩手医大、県医師会、日赤、国立病院機構、県医師会、県医療局、県を構成員とする「いわて災害医療支援ネットワーク（平成23年3月20日）」を立ち上げ、地域からの要請をもとに連携や調整を図りながら、被災地域への医療救護チームの派遣や医療機関等への支援を実施するなど、避難所等における保健医療の確保を図っている。

### (2) 活動状況

これまで、発災後から県内外から多くの保健医療チームの派遣をいただいております。5月11日現在、医師や看護師等を構成員とする避難所への医療救護が39チーム（最多は3月末の58チーム）、精神科医等を構成員とする心のケアが16チーム、保健師による巡回が40チームとなっているほか、県立大船渡病院、県立宮古病院などの中核的な県立病院への診療応援や歯科医療や歯科口腔ケアの巡回チームが活動している。

## 3 当面の医療救護体制について

### (1) 保健医療支援チームの動向

現在、県内外からの支援チームにより、避難所等を中心とした被災者への医療救護活動が行われているが、今後は、必要なチーム数を確保しつつ、ライフラインの復旧や仮設住宅の建設、地域医療機関の診療の再開により、徐々に全国からの救護医療チームが縮小し、地域医療機関を中心とした医療提供体制に移行していくこととなる。

なお、保健師チーム等の保健活動については、今後、避難所等に加え、新たに仮設住宅入居者への保健活動についても継続して実施していく必要がある。

### (2) 当面の取組

仮設住宅の建設や、地域医療機関の診療再開などの状況を踏まえ、復興に向けた第1ステップとして、地域医療機関の復旧と中核医療機関の診療機能が回復されるまでの間、被災した県立病院を含めて仮設診療所を設置し、仮設診療所と一部の地域医療機関による医療提供体制を確保していく。

■保健医療チームの主な活動状況・・・【H23.5.11時点】

(■県内、口県外機関)

修正版  
(5/18会議結果を踏まえて修正)

NO	保健所名	市町村エリア	拠点数 保健所 仮設診療所	避難者数 (5/10:17時)	1 医療救護チーム (県医療推進課・医療局・保健所、岩手医大、県医師会、日赤、国立病院等)		2 県立病院への診療応援 (医療局・(県医療推進課)等)		3 心のケアチーム (県障がい保健福祉課・精神保健福祉センター・保健所、岩手医大等)		4 保健師巡回チーム (県健康国保課・保健所等)		5 歯科医療・歯科口腔ケア巡回チーム (県歯科医師会(県医療推進課)等)		6 災害支援ナース応援 (県看護協会(県医療推進課・医療局)等)		7 災害リハビリ巡回等支援 (理学療法士協会:5/11報告)		8	9	備考
					内容	チーム数	内容	延べ支援機関数	内容	チーム数	内容	チーム数	内容	チーム数	内容	チーム数	内容	チーム数	内容	チーム数	
1	大船渡	陸前高田市	7	14,080	□秋田大(岩手医大) □日赤②(盛岡、北見) □三重県 □医師会JMAT②(三重、福岡・聖マリア病院) □千葉県 □北海道 □東京都 □浜松市 □日本小児救急医学会	11	-	□東京都 □千葉県	2	■奥州保健所 ■一関保健所 ■奥州市 ■一関市 ■藤沢町 □横浜市 □岐阜県 □岐阜市 □浜松市 □三重県 □岡山県② □沖縄県 □神戸市 □長野県 □名古屋市	16	■歯科医療・口腔ケア対策チーム (県・県歯科医師会) 歯科医療①  ※口腔治療実績:1,352人 (4/1~5/11までの延べ人数)	1		□PT派遣(常時2~3名) 〔県理学療法士会・日本理学療法士協会〕 ■県立高田病院・気仙苑	-					
2	大船渡	大船渡市	5	5,049	■盛岡医療生協 □自治医大 □医師会JMAT(青森)	3	〔県立大船渡病院への支援〕 ■岩手医大 ■県立南光病院 □神奈川県立病院機構 □藤沢市民病院 □心血管インターベンション治療学会 □榎十字病院 □日本小児科学会	7	□沖縄県 □宮崎県 □埼玉・秀峰会	3		■口腔ケア対策チーム(単独型) 5/11の活動はなし  ※口腔ケア・歯科相談実績:1,327人 (4/1~5/11までの延べ人数)									
3	釜石	釜石市	3	3,548	□日赤③(足利、大森、群馬) □自衛隊 □秋田県	5	〔県立釜石病院への支援〕 ■岩手医大 □自治医大同窓会 □北里大	3	□山口県 □大阪市	2	■中部保健所 ■北上市 □堺市 □北九州市 □秋田県 □愛知県③ □宮崎市 □愛媛県② □千葉市 □神奈川県	13		■釜石リハビリネットワーク 〔県立釜石病院・せいてつ記念病院・釜石のぞみ病院・県作業療法士会・県言語聴覚士会〕	-						
4	釜石	大槌町	4	5,263	□大阪府 □埼玉県 □医師会JMAT⑤ (青森、大阪、沖縄②、長野)	1		□神奈川県 □世界の医療団	2					□OT派遣(常時3名)日本作業療法士協会							
5	宮古	山田町	4	2,787	□日赤②(大津、姫路) □自衛隊②(旭川、真駒内) □医師会JMAT④(北海道②、千葉②) □和歌山県	9	〔県立山田病院への支援〕 ■戸塚共立第一病院	1	□大阪府 □北海道医師会 □秋田県	3	■盛岡市保健所 ■滝沢村 □和歌山県 □宮崎県 □大分市 □大阪府② □横須賀市 □静岡県② □横浜市東部病院 □聖隷三方ヶ原病院 □久留米大学	12		□PT(1名)〔日本理学療法士協会で臨時雇用〕 ■県立山田病院	-						
6	宮古	宮古市	4	2,470	■地域医療T(国保田老、心血管インターベンション治療学会)	4	〔県立宮古病院への支援〕 ■岩手医大 ■県立中央病院 □静岡県 □北海道 □済生会	5	□琉球病院・菊池病院 □静岡県立こころの医療センター □佐賀県	3			※派遣実績: 5病院、5避難所 94チーム、306人 (3/18~5/11までの延べ人数)	■PT(毎日4~5名)、 OT、ST〔宮古第一病院〕	-						
7	久慈	久慈市 洋野町 野田村 菅代村	-	62 0 298 2				■岩手医大(順天堂大他)	1												
8	沿岸地域外 (後方支援等)		-	-			〔県立千厩病院への支援〕 ■岩手医大 □自治医大	2													
合計			27	34,201		39	18		16	41		1		1	-		0	0			

○いわて災害医療支援ネットワーク(平成23年3月20日設置)

- 構成主体:岩手医大、県医師会、日赤、国立病院機構、県医療局、岩手県・・・(このほか、逐次、保健医療関係者が参画)
- 地域の要請をもとに連携調整を図りながら、医療チームの派遣や医療機関等の支援等を実施・・・(県庁で定期的なミーティングを開催)